

平成12年11

商工わがのと

平成12年11月1日発行 第458号
(毎月1日発行 定価1部40円)

発行人 石川県商工会連合会
発行所 石川県金沢市戸水町イ65番地
〒920-0223 TEL (076)268-7300

石川県商工会連合会会報

<http://www.ishikawashokokai.or.jp/>



とじ込んで保存しましょう

うみっくらんど七塚(七塚町)

主な内容

- 市町村長と商工会長との懇談会を開催(2)
- 商工会の共済制度にご加入の皆様へ(3)
- 中小企業景況調査から(7月~9月).....(4)
- 商工アドバイザー事業(5)
- ホームヘルパー養成研修会を開催(6)
- あのみち・このむら(7)
- 探訪「チャレンジ企業」・日高グループ(8)

七塚町総合交流促進施設「うみっくらんど七塚」は、平成十一年七月一日、白尾の七福神センター横にオープンしました。

この施設には昭和初期から三十年代後半にいたる七塚の海浜及び能登半島の漁村に使われていた数多くの貴重な漁具類や郷土資料の展示のほか、コンピュータ制御による遊び感覚で楽しみながらできる槽こぎやタライ漁の体験コーナー、語り部コーナー、シアタールーム等があります。

このほか、野外には「オートキャンプサイト」、「フリーテントサイト」、「バーベキューサイト」、すぐ近くには海水浴や釣りが楽しめる海岸があり、七塚町の観光スポットの中心となっております。

うみっくらんど七塚
TEL 〇七六 二八三 八八八〇

市町村との協調・連携を確認

市町村長と商工会長との懇談会で

県連合会と市町村商工会は、市町村行政との連携強化を図るため十月十一日金沢市内のホテルで「市町村長と商工会長との懇談会」を開催した。商工会地区の市町村長、商工会長等の約一五〇人が出席した。席上、滋賀県長浜市で中心市街地活性化に取り組んでいる第三セクター(株)黒壁代表取締役の笹原司朗社長から「よみがえった中心市街地『まちづくり』における行政と民間の役割」と題して講演も行われた。

はじめに、県連合会の谷本会長が主催者を代表してあいさつ、次いで来賓として県町村会の西田耕豊会長、県商工労働部の齊藤直部長からあいさつをいただいた。

引き続き、谷本会長が座長となつて懇談会に入り、県連

合会の大家専務理事が県内商工会の現状と課題について説明、市町村側の理解を求めた。

民のやる気を 官が支援

また、市町村と商工会との連携事業として、川北町商工会の井波好雄会長が異業種グループ有志が地ビール事業を通じて町おこしに取り組んでいる事例を発表し、同町産業経済課の作田良一課長から行政の支援と対応について補足説明された。

次いで、田鶴浜町商工会の永江榮毅会長が「地域振興支援事業」「地域振興実現化事業」を通じて生まれた若手商業者有志による共同店舗建設を核とした商業集積づくり事業の経緯と支援について紹

介、さらに同町の西平秀夫町長から行政の支援と対応について御発言いただいた。

―笹原講師の講演、懇談と続き、最後に県連合会の下出重与茂副会長が出席者への感謝、今後一層の連携強化のお願いとともに閉会のあいさつを行い、懇談会を終了した。

まちづくりの 黒壁

- 滋賀県・長浜市 -
笹原社長が特別講演



黒壁ガラス館【1号館】



れも世界中で行い、良いガラスと芸術性の高いディスプレイでリピーターを増やしている。どんな店でも良い商品を置いたところにお客さんは来てくれる。オリジナルがある良い店はどこにあっても売れる。商店街でも駐車場より良い店づくりが大切。

郊外の大型店ができない店づくり。全国どこにもあるような土産物店は一切出店させない。お客に合せるのではなく、良いものに対するニーズがお客の中に生まれるように努めている。

五年目には増資もできた。設立当初は、竹下内閣のふるさと創生資金で長浜市の出資を受けたが、さらに「黒壁」が市のためになつているといふ評価が得られ、出資が市にとって良いことであるとの評価を得るようになった。

黒壁の成功に地元商店街が呼応して、個々の店で改修の動きが広がり、この十年間で一九〇の商店が何らかのリニューアルを行い、その内、九〇店は新たな経営者が出店している。街が変われば、住む人も変わる。自分が信じてやってきたことが着実に実績を上げ、結果的に周囲の人々がついてきてくれたというのが成功の実態である。

昭和六十二年、市教育長から、明治時代の銀行跡で街のランドマークともいえる「黒壁」が取り壊しの危機にあるので、保存できないか相談を受けた。黒壁を使って何をするのか。資本金では大企業にかなわない。資本、カネの力のできない、歴史や文化や国際性を秘めた何かを、地域にこだわらず、広く世界中に探し求めたところガラス美術・工芸に行きあたった。

当時は、ガラスを研究し販売する場所は全国になかった。平成元年七月に一号館、四号館で黒壁スクエアを形成しスタートした。オープン前は月四千人の来街者が、オープン後一カ月間で二万人を集客。その後も客足は落ちなかった。

更に、周辺の空家を活用して北国街道をガラス街道にしたいと順次計画を進めた。オリジナルのガラスに力を注ぐと、作る、見せる、売ることをしながら、少しずつグレードの高い製品を提供できるよう教育投資を行った。仕入

商工会の共済制度にご加入の皆様へ

委託保険会社更正特例法による取り扱い

商工貯蓄共済制度及び特定退職金共済制度並びに全国商工会経営者年金制度は商工会会員、及びその家族、従業員の方を対象に、全体的なご加入をいただいております。

このたびの商工貯蓄共済制度の委託保険会社である協栄生命の破綻により、ご加入の皆様には、ご心配をおかけいたしました。が現時点で把握している各共済の概要は次のとおりです。

なお、今後の破綻に伴う更生計画は、次のとおり予定されております。

スケジュール等
更生特例法申請（十月二十日）

更生手続き開始決定
（十月二十三日）

（管財人の選任）

更生計画案の作成・提出

裁判所による計画認可

更生計画の実施
（平成十三年三月頃）

新会社スタート

商工貯蓄共済制度

特定退職金共済制度

本制度は、従業員の退職金

視点

株価は一六〇〇〇円（東証、日経平均）を割り込んで久しい。二〇〇〇〇円を超えようとしていた年初の勢いはすっかり影を潜めている。

株価は、内外のいろんな要因に反応し、変化するが、企業業績に良いところと悪いところがまだまだある間は上昇の勢いは弱いし、日本経済全体の先行き不透明感も足かせになっている。

一方、新聞の株式欄を見てみると、従来の株式市場とは別天地のような市場が掲載されている。

東京証券取引所の「マザーズ」と大阪証券取引所の「ナスダックジャパン」である。

マザーズは昨年十一月に、ナスダックジャパンは今年六月に創設された。

いずれも新興成長企業を対象とした新しい市場であるが、これを「別天地」といったのは、株価もそうであるが、企業名はほとんどカタカナ、業種もインターネット関連など新業態が多いということからである。

特にナスダックジャパンは、アメリカの一大株式市場であるナスダックの日本版であり、孫正義氏が主導してできた市場として注目されている。

マザーズ、ナスダックジャパンの両市場ともまだまだ上場企業数は少ないが、株価は全体として

しては高めのものである。

ちなみに、ソフトバンクが大株主のヤフー（店頭、インターネット情報検索）や、楽天（店頭、インターネットショッピングモール）は店頭公開株として店頭市場で株価の動向が注目されている。

先般、ナスダックジャパンの説明会があったが、これから、県内企業でこういう店頭市場やマザーズ、ナスダックジャパン市場に上場する企業が出てくるであろうか。

景気の回復が待たれるが新しい時代もすぐやってくる。元気のいい企業が輩出しないとIT時代に取り残されてしまう。

石川県商工会連合会
専務理事 大塚忠寿 記

制度であります。積立金の取り扱いについては、今後六カ月後程に予定されている更生計画の中で決められます。

なお、今後の掛金については、減額されませんが前の例では、解約の場合、早期解約控除制度が適用されていますので、更生計画をみて継続か、解約かの判断をしていただくため掛金は継続していただきますようお願いいたします。

全国商工会経営者年金制度

本制度は、加入者の貯蓄制度とし掛金は全国商工会連合会に掛けている制度です。積立金の取り扱いについては、今後六カ月後程に予定されている更生計画の中で決められます。

なお、今後の掛金については、減額されませんが、三カ月未納では自動的に解約の扱いとなり、前の例では解約の場合、早期解約控除制度が適用されています。

環境・福祉の海外調査

青年部・女性部海外視察
事前研修会を開催

県連合会では、去る十月六日（金）に環境・福祉ビジネス海外調査事業の一環として、現地視察参加者を対象に事前研修会を開催した。

研修会では、「地球の友金沢」

の田中純一氏による「環境にやさしいまちづくり」先進国ドイツにおけるまちづくりの現状」と題して、特にフライブルグ市におけるゴミ対策、交通政策、エネルギー対策の取り組みについてスライドを交えて説明された。

講演要旨は次のとおり

- 「3R対策」
- Reduce（ごみを減らす）
- Reuse（ごみを再利用）
- Recycle（リサイクル）
- 交通政策
- 公共交通機関の整備拡大
- 都心部へのクルマの乗り入れ規制
- 駐車政策
- （駐車場の廃止 自転車置場の拡充）
- 自転車利用の拡大
- レゴカウルテ
- （地域環境定期券の発行）
- エネルギー対策（資源保護）
- 原子力発電非依存促進
- 大気汚染物質排出の抑制
- 地球温暖化防止



県下商工会地域における七月から九月期の景況調査によると、産業全体では売上額のD・Iは前期より下降し、採算も僅かに悪化した。資金繰りは極く僅か好転した。来期は売上額・採算・資金繰りともに向上好転するとの予想である。

景気回復の足取り鈍し

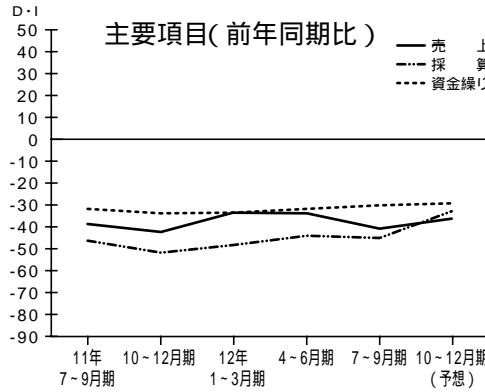
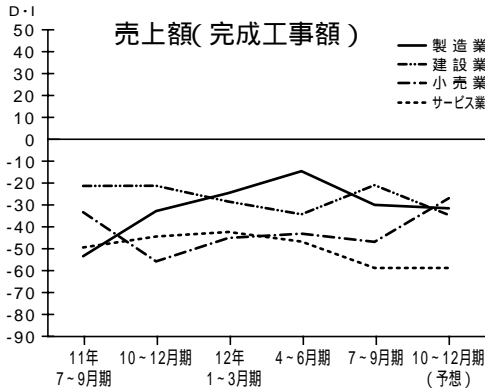
中小企業景況調査(7~9月期)

業種別にみると、製造業については売上額のD・Iは前期より下降したが採算・資金繰りともに極く僅か好転しており、来期については採算は好転、売上額と資金繰りは極く僅か悪化の予想である。建設業については、売上額・採算はともに向上好転したが資金繰りは横バイであった。来期は、売上額・資金繰りともに下降悪化であり、採算は横バイとの予想である。

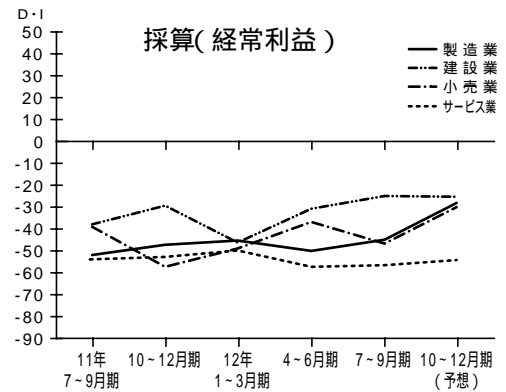
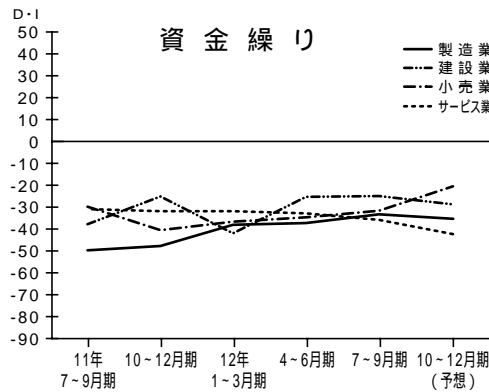
小売業については、売上額・採算はともに下降悪化であり、資金繰りは極く僅か向上好転した。来期については、売上額・採算・資金繰りともに

向上好転の予想である。

サービス業については、売上額・資金繰りともに下降悪化した。採算は極く僅か好転した。来期については、売上額横バイ、採算極く僅か好転資金繰り悪化の予想である。



D・Iは企業経営者の景気の見通しを表す指標として利用される。算出方法は、売上高(生産高・工事高)の増加企業割合から減少企業割合を差し引きしたものであり、D・Iがプラスなら強気(樂觀)、マイナスなら弱気(悲観)、プラス・マイナス同数の場合はD・Iは0となる。ここでの割合は回収企業に対する回収割合。



能登空港の開港に向けて事業を展開

去る十月十三日、県連合会の新空港活用能登地域活性化推進委員会が開催され、十二年度事業の経過報告の後、今後の事業の進め方について協議した。

体験モニター事業

新たな能登観光を企画するため、体験モニターツアー「能登半島 体験の旅」を能登北部グリーンネットワーク協議会との連携、共催で実施する。

物語のある産物づくり事業

商工会の特産品ものづくりで商品価値を高め、売れる産品にするには、地域の知恵価値が伝わる物語性が必要となるため、能登新空港の関係で新規事業に取り組みものづくりを対象に実施する。

広域プロデュース事業

農林漁業や工芸関係の新たな体験メニューを、宿泊施設や観光関係のスタッフがお客様に提案できるように企画力と情報力を養成するため体験交流研修を実施する。

情報誌の発行

第2号、第3号を発行する。

実践グループの育成

昨年実施した新空港活用ピ

ジネスプラン・アイディア募集の「私がやります、このビジネスの部」に応募があったグループについて十二年度末までに事業化できるよう指導を行う。

能登半島 体験の旅実施

十月十四日、一泊二日の日程で、奥能登の秋を体験し、触れあい、味わってもらおうと企画し、募集した「能登半島 体験の旅」七コースのうち、今回応募のあった「海を楽しむ」「食べ物を作る」「海山で採る」の三コースで実施した。参加者全員は六水町に集合後、平成十五年開港に向け、建設中の能登空港の現場を見学し、各コースに分かれ、磯釣り体験やきのこと採り、豆腐作りなどを体験し、奥能登の魅力を満喫した。



能登空港建設現場を見学

経営一口講座

最近、新聞で「確定拠出年金」という言葉が頻りに出まっています。これは新しい企業年金制度ですが、来年から導入されようとしています。いま日本の企業年金制度は、大きく変革期を迎えようとしています。企業は従業員の退職に備えて、厚生年金保険などの公的年金以外に、通常、企業年金（厚生年金基金や税制適格年金など）と退職金の2つの制度を持っています。現在この企業年金の積立額が運用利回りの低下から大きな積立不足が生じており、本来積立てられていなければなら

最近、新聞で「確定拠出年金」という言葉が頻りに出まっています。これは新しい企業年金制度ですが、来年から導入されようとしています。いま日本の企業年金制度は、大きく変革期を迎えようとしています。企業は従業員の退職に備えて、厚生年金保険などの公的年金以外に、通常、企業年金（厚生年金基金や税制適格年金など）と退職金の2つの制度を持っています。現在この企業年金の積立額が運用利回りの低下から大きな積立不足が生じており、本来積立てられていなければなら

来年「確定拠出型年金」スタート

自己責任で運用・個人型も創設

来年「確定拠出型年金」スタート
自己責任で運用・個人型も創設
現在この企業年金の積立額が運用利回りの低下から大きな積立不足が生じており、本来積立てられていなければなら

現在この企業年金の積立額が運用利回りの低下から大きな積立不足が生じており、本来積立てられていなければなら

西村 清

小売業・卸売業・旅館・飲食店などの
所定労働時間が週44時間に

週所定44時間労働制の
実施と奨励金の活用を！

1. 小売業、卸売業、旅館、飲食店、医院などの労働者数が10人未満の特例措置対象事業場では、平成13年4月1日から法定の週所定労働時間が現行の

46時間から44時間

に変更になります。

44時間労働制の実施を怠りなくお願いします。

・奨励金の活用

なお、週44時間を超えている事業場が1時間以上短縮して44時間以下とする場合に、次の表の奨励金が支給されますので積極的に活用して下さい。

コンサルタント活用措置と省力化投資の措置又は雇入れ措置は併用が可能です

措置の内容	支給額
省力化の措置 1	50万円
雇入れ措置 2	50万円
コンサルタント活用措置	コンサルタント活用措置に要した費用の額(上限10万円)

- 150万円以上の省力化投資が必要で、パート労働者でも期間の定めがなく、かつ、所定労働時間が週20時間以上であれば該当します。
- お問い合わせ先
石川労働局労働基準部監督課
電話 076-265-4423
- この奨励金については次の機関で取り扱っております。
全国労働基準関係団体連合会 石川県支部
電話 076-232-2973

設備導入を支援します。

設備資金貸付制度(無利子貸付)
設備貸与制度(割賦・リース)

申込受付中!

県内の小規模企業者等が必要とする資金の貸付及び小規模企業者等が希望する機械設備の低利割賦(ローン)販売またはリースを行います。

対象者・対象設備.....原則として指定なし
創業者(未創業者).....利用できます

制度名	利用限度額	期間	利率	備考	
設備資金貸付	4,000万円	7年以内	無利子	貸付は設備価格の50%以内	
設備(特定貸与 [割賦]) 設備貸与 [リース]	6,000万円	7年以内	年2.75%	月リース料率	
				3年 3.006%	4年 2.312%
				5年 1.886%	6年 1.609%
				7年 1.408%	
		3~7年			

平成13年3月末日までに設備(特定)貸与制度を利用して設備を導入される場合には、石川県から割賦損料(金利)の0.5%以内の利子補給が受けられます。

(問い合わせ先) 財団法人石川県中小企業振興協会 設備貸与課
TEL: 076-267-1140 FAX: 076-267-3622

「石川県最低賃金の改正のお知らせ」

平成12年10月1日から石川県最低賃金が
日額 5,123円 時給 641円
に改正されました。
詳細は、石川労働局「(076)265-4425」
又は最寄りの労働基準監督署にお尋ね下さい。

十二年度下期の
「商工アドバイザー事業」

県連合会が、昨年度からの継続事業として、県内六プロツクの広域商工会協議会と共同で実施している「中小企業支援制度利用促進アドバイザー(商工アドバイザー)事業」の、今年度下期に委嘱するアドバイザーがこのほど決定し、去る十月十日に開催した第一期の連絡会議を経て、下期の事業活動を開始しました。今期の商工アドバイザーは、辰口町、野々市町、津幡町、志雄町、中島町、柳田村の各商工会に一名(合計で六名)が配置され、それぞれの地元商工会を活動拠点に、ブ

ロツク内の小規模事業所を順次巡回訪問して、県の制度融資や各種商工施策の普及と広報活動を行うとともに、小規模事業者からの意見や要望等の情報収集と行政機関へのフィードバックを行います。巡回する企業については、事前に地元商工会と協議のうえ実施することにしていきますので、会員各企業には商工アドバイザーの訪問時には、「金融、経営の改善・安定」への参考情報として気軽に相談を持ちかけ、ご利用ください。

ホームヘルパー養成研修始まる

二級課程に三十一名が参加

県連合会では、九月二十八日、県連合会研修室で「ホームヘルパー養成研修（二級課程）」の開講式と第一回目の研修を開催した。

この研修は、高齢者の増大かつ多様化するニーズに対応した適切なホームヘルプサービスの提供と介護・福祉サービスの振興に寄与するため、必要な知識と技術を有するホームヘルパーの養成を図ることを目的として実施するもので、県内商工会地域の女性部員を中心に十四商工会から三十一名が参加、ホームヘルパー二級の資格取得をめざす。

初回のこの日は、午前九時から開講式を開催。大塚忠寿県連合会専務理事と由雄久美県女性部連合会副会長が開講のあいさつを行い、「受講者の皆様全員が百三十時間のカリキュラム全てを受講され、二級ホームヘルパーの資格を取得されるよう願っています」と受講者を激励した。

引き続き、第一回目の研修が行われ、金城大学社会福祉学部の岡森正吾教授から社会福祉の制度とサービスに関する講義を受けた。

三十一名の参加者は、これ



から十一月二十三日まで、五十八時間の講義と四十二時間の実技講習を受講した後、参加者の地元の特別養護老人

ホームや老人保健施設、社会福祉協議会、デイサービスセンターなどでの三十時間の実習を受け、ホームヘルパーとして必要な知識や具体的な介護技術を学ぶ。

研修内容（計百三十時間）
講義（五十八時間）

内容

- ・福祉サービスの基本視点
- ・社会福祉の制度とサービス
- ・ホームヘルプサービスに関する知識
- ・サービス利用者の理解
- ・介護に関する知識と方法
- ・家事援助に関する知識と方法

法

- ・相談援助とケア計画の方法
- ・関連領域の基礎知識
- ・実技講習（四十二時間）

内容

- ・共感的理解と基本的態度の形成
- ・ケア計画の作成と記録、報告の技術
- ・基本介護技術
- ・レクリエーション体験学習

実習（三十時間）

内容

- ・介護実習
- ・ホームヘルプサービス同行訪問
- ・在宅サービス提供現場見学

- 守りから攻めの経営へ!! 新たな取り組みをバックアップ -

経営革新支援セミナー

受講者募集

- 開催場所：金沢市戸水町イ65 石川県商工会連合会研修室
- 参加対象：商工会地域中小企業（工業関係）の経営者、後継者、経営幹部等 30名
- 受講料：無料
- 講師：(社)中部産業連盟専門講師

日程及び内容（時間はいずれも午後1時30分～午後4時30分）

回数	期日	内容	講師
第1回	11月28日(火)	激変する経営環境とその対応について 中小企業がめざす経営革新への具体的対応策について	中産連主席コンサルタント 大竹 祐一
第2回	12月5日(火)	中小企業が行う経営革新に対する支援策について 経営革新実現化に向けたビジネスプランの必要性	(石川県商工労働部商工政策課) 中産連主席コンサルタント 桑野 誠
第3回	12月15日(金)	経営革新実現化に向けたビジネスプランの作り方	〃
第4回	1月16日(火)	分科会（3つの分科会に分かれて講義とケーススタディ） 第1分科会「新分野への進出」	中産連主席コンサルタント 大竹 祐一 中産連主任コンサルタント 村山 明
第5回	1月30日(火)	第2分科会「新たな生産方式の導入」 第3分科会「ITを活用した新たな販路・調達先の開拓」	中産連主任コンサルタント 松井 順一
第6回	2月13日(火)	我が社の経営革新 これからの経営者に求められるもの	(先進企業経営者) 中産連常務理事(東京本部長) 五十嵐 瞭

お申し込み、お問い合わせは最寄りの商工会又は石川県商工会連合会（TEL076-268-7300）まで 【主催：石川県商工会連合会】





田鶴浜町 繊維展示会に 新作建具発表

新たな建具製品の可能性をPRし、来場者から大きな注目を集めた。
展示された作品は、和風、洋風の部屋のどちらにも合う新感覚のついたてで、若者や女性をターゲットに企画・製作されたもので、黄色などの

十月五日より開催された「能登テキスタイルウィーク」企業製品展示に、唯一の異業種展示作品として、田鶴浜建具から出展があり、業種の枠を超え、新たな需要開拓を探索とともに、

加賀

あのみち
このむら

能登

レース状の色紙を貼り、従来の障子紙にはないデザインが表現され、オフィス用としても使えるよう工夫されており、これからの新しい建具の用途を模索する作品の第一歩となった。

鹿西町 鹿西町商工会で 「いきいき楽市」開催

商工会では、昨年十一月より「一店逸品・逸サービス運動」として商店の自慢の商品、サービスなどをチラシで紹介し、地元商店の良さをアピールしている。

そこで、九月二十三日に鹿西中学校横の町イベント広場で十五の商店、グループが軒を連ねて、夕市「いきいき楽市」を開催した。和菓子、寿しの実演販売や農協青空市場、切り花、地物のさかな、果物、食料品、衣料品などの販売と、飲食では、やきそば、カマ鍋、やきとり、古代米のすし、うどんなどの屋台が並び、夕方の買い物客で賑わった。
商工会としては、今後、大



型店との差別化を進め、イベント的要素から生活に密着した夕市として、定着させたいと思っている。

青年部 第14回商工会青年部 親睦ゴルフ大会を開催 ～団体の部優勝は辰口町青年部～

今回で十四回目を迎えた青年部ゴルフ大会は去る十月十七日、チャリティコンペとして押水町「能登カントリークラブ」において開催された。

当日は、晴天に恵まれ絶好のゴルフ日和、青年部員一八名が日頃鍛えた腕前を競い合った。
競技方法が、十八ホールのストロークプレーによるダブルペリア方式を採用。十八ホール中、ニアピン賞とドラゴン賞が各二ホールずつ設けられた。
なお、全ショートホールを

対象にチャリティが行われ、七三、四〇〇円が集められた。募金は県青連執行部で協議した結果、開催地に立地する羽咋郡押水町の特別養護老人ホーム「ちどり園」に車いす二台を寄贈した。
競技は、団体の部では辰口町商工会青年部が、個人の部では西 栄次さん（羽咋市）がそれぞれ優勝した。



団体の部優勝 辰口町商工会青年部

経営テレビ番組

ビジネス・ズームアップ
北陸放送（火曜 11時）
7日 プロの技を伝授します！
「一番町四丁目大学」
14日 年間百種類の新商品開発！
惣菜・レトルトから
菓子分野へ進出
21日 頑張れベンチャー！
工業用マルチメディア
への挑戦
28日 先端技術を支える！
プラスチック磁石
專業メーカー

代理店研修生募集

研修嘱託社員となっただき、将来專業代理店となっただきです。

損害保険代理店は時代の先端をゆくビジネスです。

- 資格 22歳～45歳
- 給与 210,000円～280,000円（固定給）
- 研修期間 標準36ヶ月

安田火災海上保険(株)

金沢支店 金沢市香林坊1-2-21
第一支社 電話 (076) 262-1671

くわしくは、お気軽に
右記へご相談下さい。

まごころでサービス

安田火災

探訪 チャレンジ企業 18

未来志向の事業意欲 日高グループ：志賀町



事業主の真価と企業

企業は事業主の器量によって決まる。企業を取り巻く環境が厳しければ厳しいほど、事業主の器量は真価を發揮し、企業は力強くチャレンジの道を進んで行く。そこには事業主の前向き思考が、新技術を生み、新製品を開発し、新事業を創造して行くことになる。一般に不況になると守勢をとる企業が多いが、ここに取り上げる志賀町の日高グループは、未来指向の典型的チャレンジ企業である。

日高グループの概要

日高グループは、各種木工機械・アルミ加工機、半導体製作機械、各種産業機械、特種専門機械等の設計、製造、販売をしている日高機械を中心に、各種木工機械及びNC諸機械の設計、製造、販売の株式会社田辺鉄工所、及び各種木工機械の販売の株式会社



木工機械、軽金属加工機械から風力発電装置までの製造・販売会社を経営する日高代表取締役

田鶴浜マシニングウッドでもって構成されている。この日高グループが何故チャレンジ企業かといえば、このグループが製造販売する機械に規格品は一つもなく、総て依頼主の意見を尊重し要望に沿ったオリジナルな機械設備を製造しているからである。即ち受注内容が一つ一つ異なることから、受注段階の企画から設計製造等、すべて開発の連続となるからである。

開発の原動力と特色

この見事な連続的开发の原動力は、日高グループの代表者日高明正さんの「人の真似は絶対しない」という信念と逆発想による問題解決策の実行にある。従って常人の及ばぬ技術が常に展開され蓄積されていく。その一つに各機械に設置するコンピュータ



この巨大な機械も自社発電（左図）で移動しているためコストがかからない。

は、ハード・ソフト共に自社製であり、大手専門メーカーが製造するコンピュータを全く頼っていない。そのため、目的に沿う効率的で操作のし易い機械となり、中小企業にとって手頃な価格となるのである。

新規事業の取り組み

現在取り組んでいる挑戦は、風力発電と間伐材を利用した生分解材成型物「りんき」である。共に地球環境を大切にするという理念が活かされており、風力発電は、元内灘高校の校長先生の持つ特許を実用化するもので、既に第一号を日高機械の工場用地に完成し、今後大いに期待が持てるものであり、「りんき」は今後非常に多く産出される間伐材の徹底的な有効利用と環境循環（森林から育った木は森林に戻す）という見地から、木材を主原料に生分解性樹脂を接合剤にした成型可能な各種容器や、表面保護の特性を活かした集材材等の製造に新分野を開くものである。

むすび

能登の地で、毎年石川ブランドに値する機械が開発されているのは、グループの代表者である日高明正さんの経営者としての思考・姿勢と強烈な個性によるものである。このグループは、全くもって石川県の誇りであり、発展が期待できる企業グループである。心から拍手をおくりたい。（お問い合わせ）

日高グループ

日高機械
〒九二五 〇二二一
石川県羽咋郡志賀町徳田
TEL 〇七七 三七 一三一一
FAX 〇七七 三七 一五五八
(株)田辺鉄工所
〒九二〇 〇八四四
石川県金沢市小橋町五 三五
TEL 〇七六 一五二 〇二四
(株)田鶴浜マシニングウッド
〒九二九 一三一六
石川県鹿島郡田鶴浜町吉田
TEL 〇七七 六八 六六六六
FAX 〇七七 六八 六三三三

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会をお訪ねください。

今年、商工会法
施行四十周年
の年です。

新しい時代への飛躍に向けて
企業の明日を応援します。